

教材・支援機器活用実践事例

【長さを比べる、測るための指導

～学級での学習の実態差に応じながら一斉指導のために～

授業について	教科名等	数学	
	単元・題材名	長さを測ろう	
	授業における教師のねらい	<p>○測定に関して、学級の生徒の学習の実態差（「測定」に関して、小学部算数2段階～3段階、中学部数学1段階）があるが、学級の実態から集団で学習を展開しながら、生徒の個々のねらいに合わせて対応する必要がある。</p> <p>○それぞれの学習の段階の生徒が、具体物の提示から「比べてみたい」「測ってみたい」という学びに向かう力を引き出し、個々の生徒に合わせて、その課題に取り組むことができるようにする。</p>	
	授業における子どもの目標	<p>○二つの長さを比べる方法（縦にして、横に並べて）が分かり、長い、短いなどの違いに気付き、理解することができる。（小学部算数2段階）</p> <p>○二つの長さについてマス目等を使って、「マス目〇つ分だから長い（短い）」とある一定の基準から考えることができる。（小学部算数3段階）</p> <p>○マス目からセンチメートル、メートルなどの量の単位を扱って考え、測ることができる。（中学部数学1段階）</p>	
子どもについて	学校・学級・学年	特別支援学校 中学部 通常の学級 1年	
	対象の障がい	知的障がい等	
	授業形態	小集団学習	
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	<p>学級の実態差が大きく、1対1対応が難しい生徒や繰り返しの足し算などができる生徒など様々である。学級集団の人数から、個別的な対応が難しい。また、友だちが学習していることに興味をもち、友だちと一緒に内容を学びたいと思う気持ちが強い生徒、プリント等を使っての学習課題の導入に対して、心理的に不安定になる生徒がいる。</p>	
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	「長さを比べてみよう」	<p>【画像】</p>  <p>*ラップの芯などを使用して教材を作りました。</p>
	活用のねらい	<p>学級集団での一斉指導で、それぞれの興味から学びに向かう力を引き出し、手に取って比べたり、具体物からプリントなどへ移行したりすることで、一つの教材を使って、それぞれの生徒が課題への取組へ集中が増し、学習へ取り組めるようにする。</p>	
授業における支援・教材の配慮事項		<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの生徒が手にして操作できる物、みんなで見て確認できる物になるように作成した。 ・身近な物を比べる対象とすることで、生徒の興味・関心が湧くようにする。 	
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・導入時には、興味をもって、「長さを比べる」ことの課題意識について、それぞれの生徒の実態に応じてもつことができた。 ・実際に手にして「長い、短い」などについて考える様子が見られた。 <p>実際に手にして比べる活動から学習プリントに移行して「マス目〇こ分」などの学習に見通しをもって課題に取り組むことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体物から単位（センチメートル）等について、段階を踏むことで、イメージをもって学習に取り組む姿が見られた。 	